

その他の介護予防に関する課題

平成20年度 老人保健健康増進等事業 地域包括ケア研究会報告書（平成21年5月22日とりまとめ）

地域包括ケア研究会の目的

- 2025年を目標として、あるべき地域包括ケアの方向性と、それを実現するために解決すべき課題の検討

予防サービスについての議論（課題抽出）

- 介護予防を介護保険の1事業ではなく、健康寿命を延ばすという観点から、**健康づくり・社会参加・地域づくりとの関連付け**
- また、65歳から74歳までの高齢者における生活習慣病予防について、**介護予防と特定保健指導の包括的な取組**
- 「認知症」「うつ」対策の重要性**。地域包括支援センターを核とし、地域住民の参画等による取組の推進
- 介護予防は軽度者だけでなく、重度者にも有効であるとの視点から、**すべての要支援者・要介護者に対しても、予防サービスの積極的な提供**
- これまで特定高齢者施策に偏り、一般高齢者施策が不十分。**一般高齢者施策を入り口として活用する体制整備を含め、地域の実情に照らした実行可能な方向性検討**

これを踏まえて、今後各方面で検討される予定

3. まとめ